



今回のアーティストは、音楽一家に生まれ、14歳からチェロを学び、古典から現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、編曲や指揮なども行う、スーパーチェリストの海野幹雄（うんの・みきお）さんです。聴く人みんなが心癒される演奏で、ピ

アニストの海野春絵（うんの・はるえ）さんと息のあった演奏を披露しました。

始まる曲はエルガー作曲の「愛の挨拶」。重厚でのびやかなチェロ演奏に引き込まれます。2曲目の「白鳥」では演奏前に、海野さんが子どもたちに語りかけました。「1886年に『白鳥』が作曲された頃、武豊では武豊線が開通しました。140年くらい前のことですが、武豊では汽車（蒸気機関車）が走っていたのですね。武豊町はすごいですね。この曲はその頃に出来た曲です。ピアノは湖面のきらめきを表し、チェロがその上を泳ぐ白鳥を表現します。羽根を広げたり、首を伸ばしたりしている情景を思い描きながら聴いてください。」

ピアノのコーナーでは海野春絵さんが優しく語りかけました。「次はピアノのお話と演奏です。ピアノの前に集まってください。」児童たちはピアノの周囲に集まって、ハンマーで叩いて出る音の仕組みや、ペダルの役割などの説明を聞きました。その後トルコ行進曲の演奏に合わせて手拍子をして演奏に参加しました。

また、チェロとピアノの違いの解説では、チェロは弦が4本しかないのですが、色々な音を出すのが難しいですが、ピアノは鍵盤があり、たくさんの音が出せるというお話や、チェロはビブラートを使ったり、音を途中で大きくしたり、同じ大きさの音を出し続けたりすることができるというお話などをしていただきました。

授業の最後の質問では色々な質問がありました。

- Q 「チェロを始めたのは何歳からですか？」
- A 14歳です。母はチェリストでしたが、子どもを産んでからは演奏を止めていました。その母が突然チェロを弾きだしたのでびっくりしました。母に出来るなら私にも出来ると思い、始めました。
- Q 「チェロの値段はいくらぐらいですか？」
- A 一番安いのは5万円位からあります。高いのは5億円ぐらいです。
- Q 「武豊をどう思いますか？」
- A 歴史ある町ですごくいいところですね。



質問の中で印象的だったのは、海野さんがチェロを始めたのは14歳と回答していたことです。「これからみんなは、将来なりたい職業や夢が出てくると思うけど、今だったら何にでもなれるよ!」というメッセージをいただきました。音楽に触れ、これから学びの幅が広がるきっかけとなるアウトリーチを、これからも続けていきたいと思っています。

海野幹雄さん、海野春絵さん、武豊に素敵な音楽のプレゼントを届けてくださりありがとうございました。